



平成29年度 長野県木育推進事業

長野県児童・生徒 木工工作コンクール 事業報告書



- 主催:長野県木材青壮年団体連合会
- 共催:長野県/中部森林管理局/公益財団法人長野県緑の基金/長野県県産材振興対策協議会/長野県木材協同組合連合会
- 後援:長野県教育委員会/財団法人長野県建築住宅センター/長野県森林組合連合会/NHK長野放送局/SBC信越放送/NBS長野放送/TSBテレビ信州/
abn長野朝日放送/長野エフエム放送/新建新聞社/長野県民新聞社

長野県木青連事務局（県木連内）

〒380-8567 長野市岡田町30-16
TEL:026-226-1471 FAX:026-228-0580

メール: n-msr@siren.ocn.ne.jp

WEB: <http://n-msr.com/>

第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール事業報告

【趣 旨】 近年、インターネットや家庭用ゲーム機などの普及により自然素材を使った遊びなどが衰退してきてはいますが、日本建築や工芸品などの「木の文化」は徐々に受け継がれています。その文化や伝統もその素晴らしさを大切にする心がなければいずれ枯れ果ててしまいます。そのような中で、長野県木青連では、木の文化を継承する子供達の心を育てる意味でも木育推進事業の一環として長野県下の小学校・中学校及び特別支援学校の児童生徒を対象とした「長野県児童・生徒木工工作コンクール」を開催し、子供たちが木に触れあい木を身近に感じ愛着を持ちながら森林の大切さや役割等を一緒に学んでもらい木の文化を大切にしていっていただきたいと考え、標記事業を実施しました。

【主催】 長野県木材青壮年団体連合会

【共催】 長野県、中部森林管理局、(公財)長野県緑の基金、長野県県産材振興対策協議会、長野県木材協同組合連合会

【後援】 長野県教育委員会、(財)長野県建築住宅センター、長野県森林組合連合会、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、テレビ信州、a b n長野朝日放送、長野エフエム放送、新建新聞社、長野県民新聞社

【対象者】 長野県下の小学校、中学校、盲・ろう・養護学校の児童生徒の皆さん

- 【応募基準】
- (1) テーマ
自由(ただし、木材を主材料として利用・加工した創作品であること)
 - (2) 大きさ
タテ・ヨコ・高さ それぞれ60cm以下とする。
 - (3) 締切り
平成29年 9月 8日(金)
 - (4) 送り先
最寄りの長野県木材青壮年団体連合会加盟の木材店まで

【事業日程】

年月日	場所	内 容
平成29年 7月上旬	県下全域	長野県下の全学校長宛に案内送付 各関係機関へ依頼書送付
7月～8月末	県下全域	木工作品製作(学校又は夏休み期間中) 各材料の提供配布は地元会員が手配
9月 8日	県下全域	作品応募締め切り(作品の回収)
9月 9日～	県下全域	各地区審査会を実施
10月 6日	松本市	長野県児童・生徒木工工作コンクール審査会
10月10日～13日	松本市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を松本合同庁舎1Fロビーにて展示
10月23日～27日	長野市	最優秀賞(県知事賞)等10作品を長野県庁1階講堂前にて展示
11月11日	松本市	松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて表彰式
平成30年 1月(予定)	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール審査会
6月(予定)	全 国	全国児童生徒木工工作コンクール表彰式

【審 査】

《基準》

- 各学年としての発想に留意して、以下の各項を充たすもの。
また、小学校低学年(1～4年)、小学校高学年(5～6年)、中学校、盲・ろう・養護学校の以上4部門に分けて審査を行なった。
- ・子供の頭で考え、子供の手で作ったもの。
 - ・木の持味を生かし独創性に優れていること。
 - ・機能、デザインが優秀であること。
 - ・工作技術が優秀であること。

【審査会】 平成29年10月 6日(金) 松本合同庁舎(502会議室)

【審査委員】 審査委員長 長野県総合教育センター
 専門主事 宮原 啓一 様
 審査委員 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室
 課長補佐 芹沢 隆史 様
 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署
 署 長 角 秀敏 様
 (公財)長野県緑の基金
 常務理事兼事務局長 関 眞一 様
 長野県県産材振興対策協議会 理事
 長野県木材協同組合連合会 専務理事
 宮崎 広雄 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 会 長 田中 一興 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 直前会長 土倉 宜也 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 代行副会長 田中 雄介 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 副 会 長 寺西 勝 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 副 会 長 澁澤 一吉 様
 長野県木材青壮年団体連合会
 事務局長 赤羽 洋紀 様
 計11名



・外部審査委員（左手前から）
 長野県総合教育センター 宮原専門主事様
 (公財)長野県緑の基金 関常務理事様
 長野県林務部 信州の木活用課
 県産材利用推進室 芹沢課長補佐様
 林野庁中部森林管理局 中信森林管理署
 角署長様
 長野県木材協同組合連合会専務理事・
 長野県県産材振興対策協議会理事 宮崎様

【審査風景】 平成29年10月 6日(金) 松本合同庁舎 (502会議室)



【展示風景】 平成29年10月10日(火)～13日(金) 松本合同庁舎 1階ロビー
 平成29年10月23日(月)～27日(金) 長野県庁 1階講堂前



【表彰式】 平成29年11月11日(土) 松本市「やまびこドーム」信州バザールイベント内にて



第40回長野県児童・生徒木工工作コンクール入賞リスト

1. 最優秀賞（長野県知事賞）

作品名	氏名	学校名	学年
ティラノサウルス	栗屋 侑生	木祖村立木祖小学校	3年
ハスの花	松原 彩花	南木曾町立南木曾小学校	6年
蓑亀	中澤 裕輝	伊那市立春富中学校	2年
やまにのぼるきかんしゃとひやくさいのきかんしゃ	甘利 優貴	長野県松本養護学校	5年

2. 長野県教育委員会賞

作品名	氏名	学校名	学年
佐久鯉ジャンプ!!	西澤 慶	佐久市立野沢小学校	4年

3. 林野庁中部森林管理局 局長賞

作品名	氏名	学校名	学年
進め汽車	奥 直也	原村立原小学校	4年

4. 公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
竹でつくったかえるとかたつむり	宮澤 和琶	安曇野市立堀金小学校	5年

5. 長野県県産材振興対策協議会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
小野矢彦神社 一之柱 御柱大祭でよいさ〜	矢島 芳健	辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校	4年

6. 長野県木材協同組合連合会 理事長賞

作品名	氏名	学校名	学年
トラック	上田 琢磨	上松町立上松小学校	3年

7. 長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

作品名	氏名	学校名	学年
ハンバーガー	福澤 月恋	伊那市立伊那小学校	5年

8. 優秀賞

作品名	氏名	学校名	学年
鳴いて羽ばたく鳥	任 隼 怡	千曲市立埴生小学校	5年
キッチン用品	赤 地 穂 佳	長野市立通明小学校	6年
上田城の門	中 村 陸	上田市立城下小学校	5年
金魚の兄弟	田 村 颯 涼	佐久市立岩村田小学校	4年
国宝松本城	中 神 葵	安曇野市立堀金小学校	5年
曲げわっぱ弁当	鈴木 姫 花	大町市立大町南小学校	5年
ジュラ紀の草食首長竜	向 山 恭 平	茅野市立宮川小学校	5年
収納テーブル	両 角 勇 人	原村立原中学校	2年
スーパースイートコーン	松 下 世	南木曾町立南木曾小学校	2年
木に登るカブクワたち	原 悠 人	南木曾町立南木曾小学校	5年

■第40回長野県児童生徒木工工作コンクール内訳

総参加人数		5,448 名
参加学校	小学校	147 校
	中学校	2 校
	盲・ろう・養護学校	1 校
	合計	150 校

審査会出品数	81 点
入選 (入賞以外 1~7)	10 点
優 秀 賞	10 点
佳 作 賞	475 点
努 力 賞	4,953 点
総 作 品 数	5,448 点

最優秀賞(長野県知事賞)

ティラノサウルス

木祖村立木祖小学校 3年 栗屋 侑生

ぼくは、夏休みの工作で何を作るか考えた時、大すきなティラノサウルスを作ろうと思いました。そして、ざいりょうは何にしようか考えていたら、味そ川ダムの流木がちょうどいいと思ったので、流木を使うことにしました。はじめはティラノサウルスの体全体を作ろうとしたけど、大きさに合った流木がなかったので、大きな頭を作ろうと思いました。流木を組み合わせて、頭の形が出来てきたら、犬みたいになってしまったので、木のかわをはることにしました。いいサイズの木のかわが見つかって、パズルみたいに当てはめていったら、ティラノサウルスになってきたのでうれしかったです。図かんで見たティラノサウルスの、体の表面にそっくりのかわが見つかってよかったです。

いい作品ができてうれしかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)

ハスの花

南木曾町立南木曾小学校 6年 松原 彩花

私がこの作品を作ろうと思ったのは、「自然系を作りたいな」と思ったからです。去年までは、建物系を多く作ってきました。なので自然の物を作りたいと思い、始めに花が浮かんできました。私は水に浮かぶハスの花が好きだったので、ハスの花にしようと思いました。

ハスの花の中から外に開いている感じを表現するのがけっこう難しかったです。中側から一枚一枚交互に貼っていき、上手く表現しました。少し難しかったけど、きれいにできて良かったです。

葉になる木を選ぶのも、難しかったです。なるべく同じ長さに切って貼るのも、横はばが合わなかったりして、なかなか見つからず、大変でした。でも、合うのを探して作りました。そのおかげできれいに作れました。

特に工夫したのは、花や葉の高さです。目立たせたい、上手く作れた花を一番高くしました。その下にバランスよく花と葉を調節してさしました。

細かな所も工夫して作れて良かったです。メインのきれいに見せたいハスを上手く使って、自然の感じを木で表現できて良かったです。良い作品を作ることができました。県知事賞をとることができてうれしかったです。



最優秀賞(長野県知事賞)

蓑亀

伊那市立春富中学校 2年 中 澤 裕 輝

私がこの作品を彫ろうと思った理由は、二つあります。
一つ目は、亀が好きで家で亀を飼っているので、彫る時に立体で亀のイメージがし易いと思ったからです。平面のイメージだけで彫ると甲羅や、爪などを彫る時に、全体のバランスや雰囲気が悪くなってしまいます。

二つ目の理由は、用意した木の板の大きさや形に題材のレイアウトが合っていると思ったからです。

この作品を彫っている時間は、他の事を考えず、無心に彫ることが出来ました。

彫刻を彫る上で一番大切だと感じていることは、自分が「これを彫りたい」という想いです。その想いを持ったからこそ今回の作品を彫ることが出来たと思います。

彫る中で工夫した所は、亀の毛の部分です。長寿の象徴として表現されている蓑亀には、藻が毛のように生えています。毛のなびいている感じを太い線と細い線を不規則に入れることで表現しました。出来上がった作品を見て、これまで彫った作品の中で一番題材のイメージを誠実に彫ることが出来ました。

今回の作品を制作するにあたり、数年前から彫刻を教えて頂いている親戚のおじさんとおばさんや彫刻の道具を用意してくれた両親に感謝しています。

今後も彫刻を続けていきたいです。



最優秀賞(長野県知事賞)

やまにのぼるきかんしゃとひやくさいのきかんしゃ

長野県松本養護学校 5年 甘 利 優 貴

ぼくの大好きな「山にのぼる機関車の絵本」を見ながら、作りました。

のこぎりやかなづちを使うのはたいへんだったけど、がんばりました。



長野県教育委員会賞

佐久鯉ジャンプ！！

佐久市立野沢小学校 4年 西 澤 慶

ぼくがこの作品を作ろうと思ったのは、ぼくの住んでいる「佐久市」で有名な鯉を、木で作って見たらどうなるのかな、ときょうみがわいたからです。「佐久鯉」は全国的にもとても有名だし、ぼくのおじいちゃんの家でも、何匹かかっていたので、とても親しみがありました。また、鯉のたき登りはかっこいいなあと思ったのも理由の一つです。

材料の木は、近くの森林にお父さんとさがしに行きました。鯉がとびはねてうねっているかっこうを作りたいかったので、どう体は、三つまたになっている木の、はねているように見える部分二辺を選んで残し、残り一辺を切り落として作りました。松ぼっくりの一枚一枚をうろこにしてグルーガンではりつけたり、バックには、小えだをはりつけて、たきに見えるようにしたところはとても根気のいる作業だったので、やっとできあがった時は、「ヤッター」という気持ちで、本当にうれしかったです。今回この作品を作ってみて、もっと佐久のシンボル「佐久鯉」のことをたくさんの人に知ってもらえたらうれしいなと思いました。



林野庁中部森林管理局長賞

進め汽車

原村立原小学校 4年 奥 直也

ぼくは、一年生の時から木工工作を作っています。いい作品を作ろうと夏休み前からいっぱいアイデアを考えていました。その中で生きている木を切るのはかわいそうだから、落ちていた木を使って作ろうと決めました。

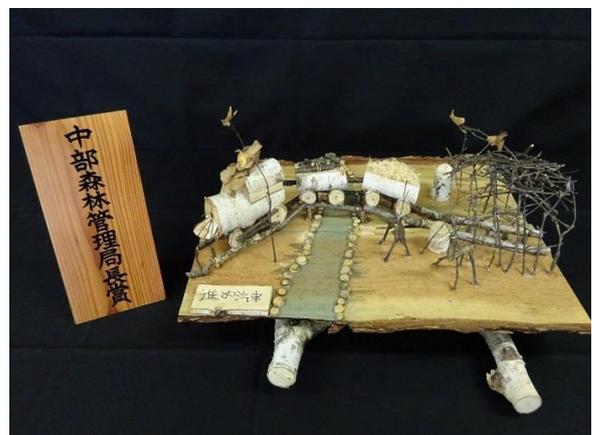
まず、落ちていた木を拾ってきて、かわかしました。土台と汽車を置く線路、線路の下の川を作りました。線路の先がさみしかったので枝を組み合わせて山を作りました。

そして、汽車本体を作りました。煙が出ているように見せるために葉っぱを付け工夫しました。線路とタイヤがうまく付かなかったので苦戦しました。

それでもまだ物足りなかったもので、鳥や鹿を作りました。

今回の作品はこれまでで1番苦労したけど、とても満足 of いく作品になりました。

来年もいい作品を作りたいです。



公益財団法人 長野県緑の基金 理事長賞
竹でつくったかえるとかたつむり

安曇野市立堀金小学校 5年 宮澤和 甞

皆は木を使って作品を作ると思ったので、僕は材料を竹にしようと思いました。

お父さんと休みの日に竹を取りに行きました。太い竹や細い竹を十本位取ってきました。始めに竹をまっすぐ切る練習をしました。竹は丸いので、切るだけでもむずかしかったです。何回も切っているうちにいろんな幅に切る事ができました。竹の節の切り口がカエルの顔に見えました。たくさん切って目を書いて並べてみました。カエルの合唱のように良かったです。

竹に穴を開けるときはドリルを使いました。ドリルを使うのも初めてだったのですごくドキドキでした。

練習でたくさん切ったいろんな大きさの竹も、何かに使えないかと考えていたら、起き上がりこぼしを思いつきました。太い竹の中に、中ぐらいと細い竹をボンドで付けてみました。起き上がりこぼしの動きをして、ゆらゆら動きましたが、よく見るとかたつむりのように見えたのでドリルで穴を開け目を付けました。

切って、穴を開けて、くっつけて、初めての事ばかりでしたが、工作するって楽しいと思いました。



長野県産材振興対策協議会 会長賞

小野矢彦神社 一之柱 御柱大祭でよいさ～

辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校 4年 矢島芳 健

ぼくの住んでいる辰野町小野では、今年御柱祭がありました。ぼくは、御柱のおの入れ・つなより・木づくりなども近くで見ることが出来たので、御柱を作るのがこんなに大変なんだと初めて知りました。そして、ぼくも小さな御柱を作ってみたいなと思いました。

この作品のイメージは、御柱に乗って木やりを鳴く氏子や、つなを引っぱる元づなと追いかけです。楽しかった里びきを思い出しながら作りました。

柱は矢彦神社一の柱の切った枝を使って、氏子は桜の枝、地面は、松ぼっくりと松の皮を使いました。むずかしかったことは、のこぎり・ちょうな・カンナ・ノミを使ったことです。お父さんに教えてもらいながら、がんばって作りました。初めて使う道具ばかりだったのでむずかしかったけれど、満足いく作品が出来て良かったです。たくさん作品の中から選んでいただいてありがとうございました。



長野県木材協同組合連合会 理事長賞

トラック

上松町立上松小学校 3年 上 田 琢 磨

夏休みの工作に何を作るか考えていました。前に学校の社会見学でちよ木場へ行った時に木材をつんだトラックを見て、かっこよかったので作ろうと思いました。

学校から持って来た材料だけでは足りなかったので、おじいちゃんの家に行って足りない材料をもらいました。

おじいちゃんに手伝ってもらい、丸いぼうをタイヤ、板を車体の長さやうんてんせきの大きさを考えてノコギリで切りました。

お父さんから工具をかりて使い方を習って、しるしをした所に穴をあけてタイヤを付けました。

板をボンドではり付けて、板がずれないように組立てて、かわくまで時間をかけて作りました。そして荷台の木材に見せようとヒノキのえだをノコギリで切って乗せました。

完成したトラックは社会見学で見たトラックみたいによく出来てうれしかったです。



長野県木材青壮年団体連合会 会長賞

ハンバーガー

伊那市立伊那小学校 5年 福 澤 月 恋

木工は、本だなどハンバーガーのどちらを作ろうかなやみました。

ハンバーガーの方が面白そうだなと思い決めました。

庭の桜の木のみきに「コブ」があったので、作品に使いそうだなと思いお父さんに切ってもらいました。

他の材料は、川へ行って流木を拾ってきたり、近所の製作所のいらなくなった物の中から使いそうな物をいただきました。

材料をそろえるのが一番大変でした。

私は、クギを打ったり、木ネジを回したりするのは苦手なので、組み立ては木工ボンドを使って行いました。

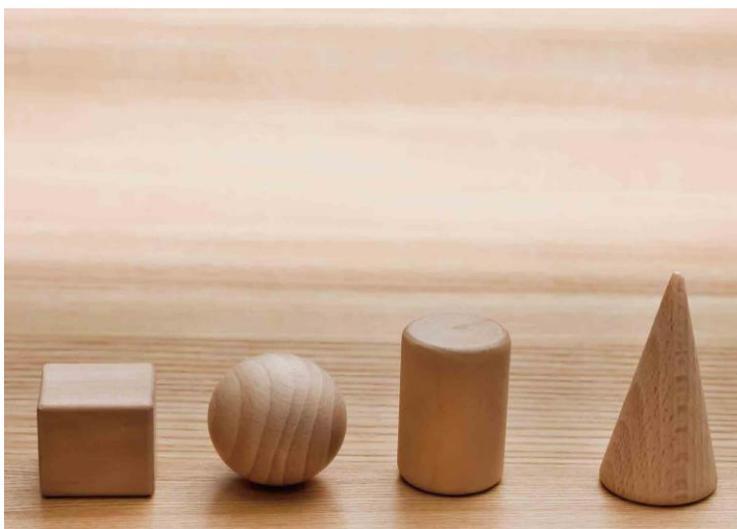
材料があまったのでハンバーガー以外の物も作り、作品全体のバランスが良くなったと思います。

思いどおりの形には出来なかったけど、完成した時はうれしかったです。

来年も木工をやろうと思います。



触れて、創って、知る ウッドコレクション



長野県木材青壮年団体連合会

〒380-8567 長野市岡田町30-16

TEL: 026-226-1471 FAX: 026-228-0580

メール: n-msr@siren.ocn.ne.jp

WEB: <http://n-msr.com/>